

糖尿病・代謝・内分泌内科

研修プログラムの概要・特徴

概要

選択科研修5ヶ月の中で、任意の期間（最短2ヶ月）当科にて行う。

特徴

熊本大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科は、主に糖尿病を中心とした糖代謝領域、及び甲状腺や下垂体、副腎などを中心とした内分泌領域の診療を行っている。研修に際しては、これら専門領域の診療が中心となるが、糖尿病や内分泌疾患は全身の疾患であり、研修目標にある他領域の疾患についても研修を行うことが可能である。

熊大病院群共通のシステムとして、研修医の研修状況は研修医により研修手帳にも記入されるが、同時に大学内のサーバーにインターネットを通じて入力される。これにより、研修医本人はもちろん、指導医にも研修状況の随時確認が可能である。

研修の目標

【 一般目標 】

患者を全人的に診療するために、代謝・内分泌領域を中心とした内科全般の基本的診療能力を修得する。

【 行動目標 】

1. 患者家族との良好なコミュニケーションを図れる（インフォームド・コンセントを含む）。
2. 全身の身体所見を的確にとれる。
3. 患者の問題点を把握することができる。
4. 適切な検査計画を立てることができる。
5. 必要に応じて遅れることなく他科へのコンサルテーションができる。
6. 適切な診療計画を実施できる。
7. 診療記録及び会話文書を遅滞なく記載できる。
8. チーム医療を円滑に進めることができる。
9. 患者の家族背景、社会的側面に配慮することができる。
10. 社会資源、地域医療連携を有効に利用することができる。
11. 厚生労働省の主に内科系の経験目標の経験を目指す。

【糖尿病・代謝・内分泌内科における行動目標】

代謝疾患

1. 糖尿病及び耐糖能障害の診断ができる
2. 糖尿病の病型診断ができる
3. 糖尿病各種治療法の正しい選択ができる
4. 食事・運動療法の設定ができる
5. 経口糖尿病治療薬の選択と用法を説明できる
6. インスリンを含めた注射薬の選択と用法を説明できる
7. 糖尿病に関する合併症の評価と治療法の選択ができる
8. 脂質異常症及び脂質代謝障害の診断ができる
9. 脂質異常症の各種治療法の正しい選択ができる

内分泌疾患

1. 下垂体前葉機能低下症・汎下垂体前葉機能低下症の診断治療を行うことができる
2. 尿崩症、SIADHの診断と治療を行うことができる
3. 先端巨大症・下垂体性巨人症の診断ができ、治療計画を立案することができる
4. 甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症などの診断と治療を行うことができる
5. 副腎皮質機能低下症の診断と治療を行うことができる
6. クッシング症候群の診断ができ、治療計画を立案することができる
7. 原発性アルドステロン症の診断ができ、治療計画を立案することができる
8. 褐色細胞腫の診断ができ、治療計画を立案することができる
9. 原発性副甲状腺機能亢進症の診断ができ、治療計画を立案することができる
10. インスリンノーマの診断ができ、治療計画を立案することができる

研修の方略

当科では、回診、医局勉強会、病棟症例カンファレンスを下記の日程で開催している。

当科で行っている検査としては、頸動脈エコー、甲状腺エコー（甲状腺穿刺吸引細胞診を含む）、正常域血糖クランプ法（インスリン抵抗性を評価）、神経伝導速度、内分泌関連負荷試験などがある。また、血糖コントロールが不安定な患者に対して持続血糖測定（CGM）システムを用いて血糖変動を把握した後、必要に応じて持続インスリン注入ポンプ療法、ベッドサイド型人工膵島による血糖管理（糖尿病患者やインスリノーマ、膵腫瘍に対する手術が主な対象）などを行う。

これらのカンファレンス、勉強会、手技、検査、治療への参加を通じて、研修目標の総合的な習得を目指す。以下に研修期間に応じて習得可能な項目を示す。

2ヶ月：血糖管理（インスリンや経口糖尿病薬の使い方）
糖尿病の診断・分類と治療方針の決定
内分泌疾患（クッシング症候群、アルドステロン症など）の診断と治療方針決定

5ヶ月：インスリン持続皮下注入療法の導入と管理
頸動脈エコー検査、甲状腺エコー検査（穿刺吸引細胞診を含む）

（週間スケジュール）

	午 前	午 後
月	病棟実地診療	病棟実地診療、頸動脈エコー
火	入退院カンファレンス、回診	病棟実地診療 医局勉強会（月間スケジュール参照）
水	病棟実地診療	病棟実地診療、甲状腺エコー
木	病棟実地診療 内分泌 Update	病棟実地診療、甲状腺エコー 病棟症例カンファレンス 内分泌勉強会
金	頸動脈エコー 病棟実地診療	病棟実地診療

（医局勉強会月間スケジュール）

第1週	卒後教育講義
第2週	卒後教育講義
第3週	研究検討会
第4週	症例検討会
第5週	他診療科医師によるレクチャー など

研修の評価

研修医が当科研修期間中の自己評価を行った後、指導医が厚生労働省の経験目標、行動目標の達成度評価を行う。

研修実施責任者

糖尿病・代謝・内分泌内科長：荒木 栄一

研修指導責任者（指導医）

（正）河島 淳司 （副）井形 元維

詳細はホームページ（<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/met>）をご覧ください。